



CENTRAL
AICHI SYMPHONY
ORCHESTRA

セントラル愛知交響楽団 定期演奏会



©ai ueda



©Hikaru Hoshi



185th

2021.9/18(土)

14:30開演 (13:30開場)

[14:10~ プレトークあり]

発売日 一般 7/28 [会員先行 7/26,27]

2021.11/19(金)

18:45開演 (17:45開場)

[18:25~ プレトークあり]

発売日 一般 9/29 [会員先行 9/27,28]

186th

指揮 / 太田弦
ピアノ / 山中惇史*

- リスト：交響詩「前奏曲」 S.591
- リスト：ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調 S.124*
- フランク：交響曲ニ短調 FWV48



©Takafumi Ueno

指揮 / 角田鋼亮(当団常任指揮者)

- ベートーヴェン：「騎士のバレエ」のための音楽 WoO1
- ストラヴィンスキー：バレエ音楽「かるた遊び」
- コルンゴルト：「雪だるま」序曲(編曲：ツェムリンスキー)
- ラヴェル：バレエ音楽「マ・メール・ロフ」Op.62

三井住友海上 しらかわホール

☎052-222-7110 名古屋市中区栄2-9-15
(地下鉄「伏見」駅下車、5番出口より徒歩5分)

チケット料金/全席指定 A席4,500円 B席3,500円 C席2,500円/学生席1,000円 (学生席は座席指定不可 指定の場合は一般価格の半額 当団事務局のみの取扱い)
※未就学児入場不可

チケット取扱い ●セントラル愛知交響楽団(郵送サービス有) ●愛知芸術文化センタープレイガイド ☎052-972-0430
●しらかわホールチケットセンター ☎052-222-7117 ●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (WEB受付のみ)

※やむを得ない事情で公演の中止または出演者・演奏曲目・曲順等が変更になる場合がございますのでご了承ください。
※当団定期会員・賛助会員様は会員先行発売日のご購入・会員割引価格でのご購入が可能となります。[当団事務局でのみ受付]

定期演奏会イベント 会場/名古屋文理大学文化フォーラム ☎0587-24-5111 入場無料・先着200名
■185回 9/16(木) 12:00~13:00 公開リハーサル 13:15~14:00 公開講座 ■186回 11/17(水) 12:00~13:00 公開リハーサル 13:15~14:00 公開講座

お問い合わせ
チケットの
お申し込み

セントラル愛知交響楽団

☎052-581-3851 <http://www.caso.jp>

(10:00~17:30/土日祝休) チケットはホームページからお申し込み頂けます。



主催/公益社団法人セントラル愛知交響楽団 共催/中日新聞社
後援/愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・FM◎AICHI
協賛/三井住友海上(11/19公演のみ)・名古屋市美術館
助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会
公益財団法人アフィニス文化財団(11/19公演のみ)



文化庁 AFFINIS ETIQUETTE

1994年北海道札幌市に生まれ。幼少の頃より、チェロ、ピアノを学ぶ。東京芸術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程を修了。2015年、第17回東京国際音楽コンクール(指揮)で2位ならびに聴衆賞を受賞。指揮を尾高忠明、高関健の両氏、作曲を二橋潤一氏に師事。山田和樹、パーヴォ・ヤルヴィ、ダグラス・ボストック、ペーター・チャバ、ジョルト・ナジ、ラスロ・ティハニの各氏のレッスンを受講する。これまでに読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などを指揮、今後さらなる活躍が期待される若手指揮者筆頭。2019年4月より大阪交響楽団正指揮者に就任。

1990年生まれ。東京芸術大学音楽学部作曲科を経て同大学音楽研究科修士課程作曲専攻修了。後に同大学器楽専攻ピアノ科卒業。第26回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位受賞。器楽、室内楽、合唱など多数がヤマハミュージックメディア、カワイ出版などから出版されている。またピアニストとしては2018年にリサイタル・デビュー。共演者としても絶大な信頼を置かれ、国内外の著名なアーティストと共演を重ねる。編曲の分野に於いても担当したアーティストはクラシックからポップスまで幅広い。ピアニスト、作曲家、アレンジャーとして参加した各CDはレコード芸術誌にて特選盤、準特選盤に選出されている。東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団など多数のオーケストラとの共演、作品が演奏されている。2019年にはソノアルバム「旅と憧れ」をリリース。2020年にピアニスト・作曲家の高橋優介とのピアノデュオ「176」(アン・セツ・シス)を結成。自らの編曲によりオーケストラ作品の演奏に挑み、第1弾として「レスピーギ/ローマ三部作」をメインに置き、同時にカワイ出版より楽譜出版、ライブレコーディングを行い話題となった。東京芸術大学非常勤講師。Twitter→@ginyamagin Instagram→@yamanaka.atsushi

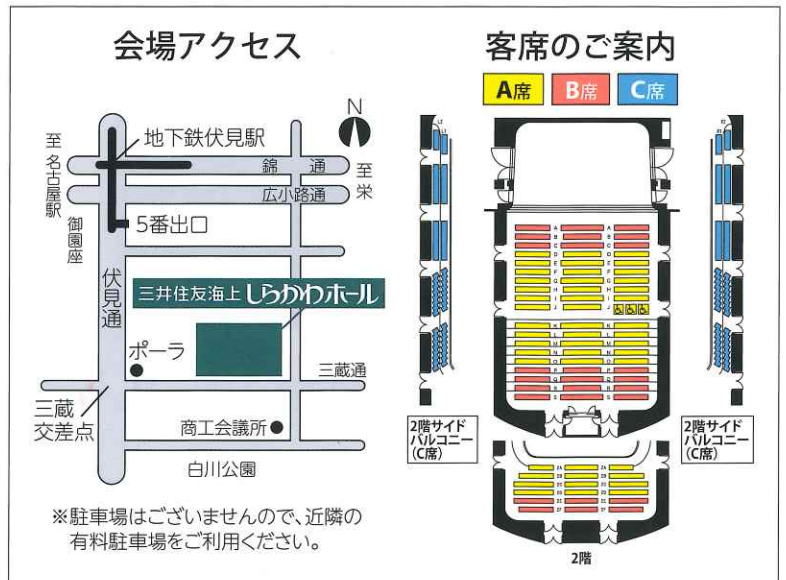
東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。2010年、第3回マーラー指揮コンクールにおいて最終の6人に残った。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団と共演している。2015年より、セントラル愛知交響楽団の指揮者に就任。2016年、セントラル愛知交響楽団第145回定期演奏会(シベリウス&山田耕作作品)が高く評価され、「第11回名古屋ペンクラブ音楽賞」を受賞。2019年4月より、セントラル愛知交響楽団常任指揮者に就任。仙台フィルハーモニー管弦楽団においても指揮者のポジションを務めており、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拓いている。2020年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞。

2021-2022シーズンのハイライトとしては、東京フィル「R.シュトラウス:ばらの騎士」、大阪フィル「ベートーヴェン:ミサ・ソレムニス」、セントラル愛知との「ブラームス:交響曲第4番」「シューマン:交響曲第3番」「ラヴェル:マ・メール・ロワ」があげられる。

<http://kosuketsunoda.com>

セントラル愛知交響楽団 Central Aichi Symphony Orchestra

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。レオシュ・スワロフスキーを名譽音楽監督に、名譽指揮者小松長生、特別客演指揮者松尾葉子、首席客演指揮者齊藤一郎、正指揮者古谷誠一という布陣で新たなスタートを切る。2021年度はアソシエイトコンダクターとして阿部未来を迎える。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組み、年間約100回の公演はいずれも好評を博す。海外では2007年中国内蒙古自治区、2009年タイ・バンコク(文化庁国際交流支援事業)、2017年韓国・釜山(釜山国際音楽祭)で公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。



新型コロナウイルス感染症対策 ご協力をお願い

- チケット半券には、ご来場のお客様のお名前とご連絡先を必ずご記入ください。
※感染者が発生した場合、ご来場者様の個人情報が必要に応じて保健所等へ提供しますので、予めご了承ください。個人情報は厳重に管理し、上記目的にのみ使用し保存期間経過後は確実に破棄いたします。
- 発熱や体調不良の場合、過去2週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある場合、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域の在住者と濃厚接触がある場合はご来場をお控えください。
- マスクを着用し、入場時の手指消毒・検温にご協力ください。(37.5℃以上の発熱時は入場をお断りします。)
- 会場内での会話は極力お控えいただき、「ブラボー」などの掛け声はご遠慮ください。
- 終演後は時間差退場にご協力ください。 ■出演者への贈り物、面会のご遠慮ください。 ■クロークはご利用いただけません。
- ホール内の換気による外気との寒暖差が発生する場合がございますので、服装にご配慮ください。
- 前後左右の間隔を空けない配席となります。制限がかかる場合は振替席への移動をお願いする場合があります。